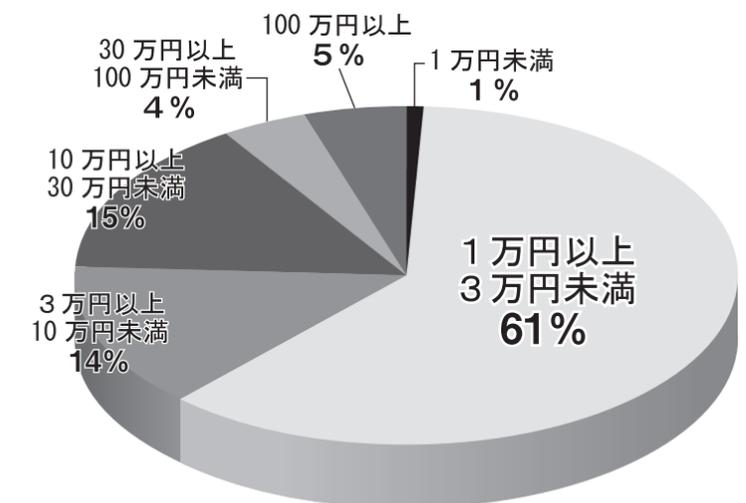


【表1】2013年度奨学生(採用対象)

	支給方法	定員	合計
高校生	給付12万円	27名	324万円
大学生	貸与24万、48万円	16名	576万円
大学院生	給付36万円	5名	180万円

【図】寄附金額の割合(2011~12年、197件、合計2800万円)



# 未来を担う 若者たちのために 小さなことから一つずつ

## 公益財団法人「在日朝鮮学生支援会」

代表理事 **朴 英雄**



公益財団法人「在日朝鮮学生支援会」は、在日朝鮮学生の就学を支援し国際性豊かな人材を育成することにより、朝鮮半島と日本の友好親善および国際交流に寄与することを目的に、2011年7月に創設され翌年12月公益財団法人として認可を受けた。この間の活動とこれからの抱負について、代表理事の朴英雄氏にお話を伺った。

■「在日朝鮮学生支援会」は2012年2月、内閣府より公益財団法人の認定を受け、奨学事業をより幅広く行なっていくこととしてい

2012年度に本財団で

は、主要な奨学事業と、日朝大学生友好ネットワークの国際交流事業への助成を行ないました。2012年度の奨学生は、在日コリアン学生34名を対象者として選定いたしました。そのうちの19名が高校生であったことで、内外に大きな波紋を投げかけることになりました。

これまでの奨学事業は、2期にわたり、50名の学生に対して、合計1332万円を支給いたしました。

民族学校に対する「高校無償化」制度からの除外や、各地方自治体により長年続いてきた補助金・助成金が停止・削減されるという、いつになく厳しい状況の中でこのような措置が講じられたことは、日本の各種奨学団体や朝鮮奨学会など、公的な奨学金の恩恵を制度的に受けられない、多くの在日コリアン学生やその父母に歓迎され、また幅広い支持を受けることになりました。

■貴財団の活動にはどのような方々が賛同されていますか？

私たちは在日同胞、日本の方々、海外在住の同胞たちなど、広範な人々に協力を呼びかけています。国際ソウル財団の科学技術

顧問や中国の清華大学客員教授など、日本国内はもちろん、海外からもこの事業にぜひ協力したいという申し出をお受けしております。そして、これまでに197件の個人や法人、団体、または集会から、合計2800万円の寄付をいただくことができました。

2年という短い期間ではありますが、その間に心あたたまるエピソードもありました。ある日本人男性は、厳しい政治状況が続く中でも、在日朝鮮学生やその家族たちに「少しでも日本人の良心を伝えたい」という気持ちから、ご自身でアピール文を作成して知人に配布し、本財団へのカンパを呼びかけてくださいました。その一部を引用します。「任意ですが、ある程度、音の響かない金額でお願いしたい(※硬貨ではなく紙幣でお願いします、という意味)」との要請により、数多くの日本の方々から「良心」がわれわれのもとに送り届けられました。まことにありがたいことだと思います。

■2013年度の事業計画はどのように立てられましたか？

私たちはこの2年間、未来を担う若者たちが学業に邁進できるよう、大きなことからはなれても、小さなことから一つずつ行なっていくことと努力してまいりました。

しかし、こんにちの状況は非常に厳しいものがあります。特に、全国の民族学校に通う多くの子どもが家庭が、高校無償化制度から

の適用除外や公的補助・助成金の削減により、大変困難な状況に陥っております。このような学生たちが経済的な問題で困窮し、中退でもするようになることがあつたら彼らの未来はどうなるのかと考えただけで、とても胸が痛み夜も寝られませんが、私の思いとしては、こうした学生たちが無事に卒業できるよう、救いの手を差し伸べてあげたいという一心であり、財団を応援して下さる多くの方々も同じ思いです。

2011、2012年度の2年間に個人、法人、団体、集会名でいただいた1

【表2】寄付金控除により減額される税金の目安(対象：個人寄付)

年収	300万円		500万円		700万円		1,000万円	
	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除
2万円	900	7,200	1,800	7,200	3,600	7,200	3,600	7,200
5万円	2,400	11,250	4,800	19,200	9,600	19,200	9,600	19,200
10万円	4,900	11,250	9,800	32,800	19,600	39,200	19,600	39,200
30万円	14,900	11,250	29,800	32,800	59,600	80,500	59,600	119,200
50万円	18,000	11,250	41,800	32,800	94,400	80,500	99,600	199,200
100万円	18,000	11,250	62,600	32,800	144,500	80,500	199,600	214,000

97件の寄付の金額の内訳は、図表にありますように、1件あたり3万円以下の寄付金が過半数であり、10万円未満の寄付金で全体

の約8割が占められています。特定、少数の大口寄付者の力で事業が行なわれているのではなく、子どもたちの学びを支援しようとする裾野の広い、多数の小さな良心、善意により財団が支えられているということをご理解いただければと思います。

■個人寄付金に対する税金控除はどのようになされるのでしょうか。

2012年6月に公益財団法人在日朝鮮学生支援会は、新寄付税制に基づく「税額控除」適用法人としての証明を受けました。「税額控除」は、公益性の高い法人への寄付に適用される特別な優遇措置です。当法人への寄付については、申告時に領収証を添付することにより、税額控除があるいは所得控除のいずれか有利な方を選択し、税金が減額されます。

【税額控除】寄付金から2千円を差し引いた金額の40%を、所得税額から控除できます。(税額の25%が限度)

【所得控除】寄付金から2千円を差し引いた金額を年間所得から控除できます。(所得の40%が限度)上の表2は、寄付金控除

により減額される税金の目安(対象：個人寄付)です。あくまでも目安ですので、参考値としてご覧ください。

■新たに構想している事業や取り組みなどがあります。今後、お聞かせください。

現在、スポーツや芸術の分野でも、世界や日本、在日社会で幅広く活躍する若者がたくさんいます。今後は、そうした将来性のある学生たちを対象とした、トップアスリート・トップアーティスト等の人材育成事業にも積極的に助成を行なっていきたいと考えております。一刻も早く始動できるような、準備を進めてまいりたいと考えております。

今後ともより多くの方々に本財団の活動を支持していただければ幸いです。一層励んでいく所存でございます。どうかあたたかいご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 在日朝鮮人学生への支援広がる



☆「在日朝鮮人学生」とは国籍によるものではなく出自が朝鮮半島で現在日本に永住している学生

**公益財団法人「在日朝鮮学生支援会」**

★ホームページ <http://zainichisienkai.or.jp/>

★寄付金の振込先 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所  
口座番号：(普) 0039619  
口座名義：公益財団法人在日朝鮮学生支援会